

Photo

島根半島の海岸に生息する甲虫類 (5) ハマベエンマムシ

林 成 多

ホシザキグリーン財団, 〒691-0076 島根県出雲市園町沖の島 1659-5

ハマベエンマムシ *Hypocaccus varians* (Schmidt) は、体長 2.5-4.2 mm ほどのエンマムシ科に属する海岸性甲虫である (大原, 2004)。広域分布種で、国内ではもっとも普通にみられる海浜性エンマムシである (大原, 2004)。河上・林 (2007) により、島根半島においても非常に多く生息していることが報告された。



写真 砂にもぐろうとするハマベエンマムシ

2006 年 4 月 8 日 12 時 39 分, 出雲市大社町神戸川河口にて撮影。本種は日中、漂着した海藻や板切れ、動物の死体の下などに潜んでいることが多い。撮影した個体も海藻下より掘り出したもの。地表に出るとすぐに砂の中にもぐろうとする様子が観察された。日本海に面した砂浜であれば、たいていどの場所でも確認することができる。

[文献] 河上康子・林 成多 (2007) 日本海沿岸の海岸性甲虫類の研究 (2) 島根半島。ホシザキグリーン財団研究報告, (10)。印刷中。

大原昌宏 (2004) 海浜性エンマムシ。昆虫と自然, 39(12): 12-15。